

## 幼稚部 学習目標

各学年の最終目標です。学年末までにできるようになるよう家庭での補助をお願いいたします。

	読み	書き	聞く話す	聞く話す具体例	数
年少	自分の名前が読める。		挨拶ができる。 簡単な会話が文章でできる。 先生の話しが聞ける。	動物の名前、色、物の名前等、主に名詞を日本語で言うことができる。 水を飲みたい。おなかが痛いなど簡単な会話ができる。	1～10 が言える。 和語の数詞も含む。 (ひとつ、ふたつ・・・)
年中	平仮名がほぼ読める。	自分の名前が書ける。	日常会話ができる。 質問に正しく答えられる。	先生の指示を理解し、行動することができる。 名詞、動詞、形容詞、疑問詞など幅広く使える。 自分の気持ちをうまく伝えられる。	1～20 が言える。
年長	平仮名が全部読める。 片仮名の半分は読める。 短い文章が読める。	平仮名がほぼ書ける。 書ける片仮名がある。	自分の考えが言える。	日にち、曜日・時間を聞いて分かる。 日本語を正しく理解し、使うことが出来る。 「が」「は」「を」などを正しく使うことができる。	1～50 が言える。
家庭で行うこと	<p>毎日、本を読み聞かせる。(CD でも良い。同じ本でも良いので毎晩行ってください。)</p> <p>朗読 (最初は 1 文からが良い。最初は一緒に読み、慣れてきたら一人で読ませる。少しずつ一人で読む量を増やしていく。読み聞かせのとき一緒に行う。)</p> <p>日本語で日常会話、挨拶 (家庭では常に日本語を使う。)</p> <p>子どもが平仮名や片仮名に興味を持つように促し、機会をみつけては書かせるようにする。(お手紙交換をするのも良いと思います。)</p> <p>数を日本語で数える。和語の数詞 (ひとつ、ふたつ・・・) や助数詞 (「個」、「匹」、「本」) も合わせて教える。</p>				